

平成 25 年度

公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会 事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

定款第 2 章第 3 条の目的達成のため第 4 条の事業を「杉山総検校和一の遺徳の顕彰に関わる事業」と統括して以下の事業を実施。

1 学術研究に関わる事業

1. 学術講習会：5 回開催、神社本殿

(1) 「生きたツボの取り方」 6 月 9 日、7 月 21 日、9 月 8 日

講師 形井秀一氏 筑波技術大学鍼灸学教授、日本経穴委員会委員長

(2) 「ツボの見方・取り方・変え方 ―臨床実践の中から見えてきたこと―

平成 26 年 1 月 12 日、3 月 30 日

講師 戸ヶ崎正男氏

日本伝統鍼灸学会学術部長 蓬治療所所長 東洋鍼灸専門学校講師

受講者 各回 30 名余

講演資料は「筑波並木点訳の会」支援作成。

2. 春の交流会：1 月 26 日 神社本殿 参加 45 名

杉山鍼灸治療所開設 1 年の研修報告 寺崎直

民謡三味線演奏 演奏者 熊田実師匠

3. 鍼灸講習所の復興（杉山鍼灸治療所研修）：毎日曜日、50 日開設

指導担当 12 名、研修生 11 名ならびに見学実習 10 数名が研修。

実習料は全て建設資金として寄付。

2 情報提供に関わる事業

1. 広報「杉山」の年 4 回発行と配布：4 月、7 月、10 月、1 月

点字版・墨字版各 300 部。

墨田区ボランティアセンター「点訳きつつき」の支援で発行。

2. 機関誌『敬神暦 一幕らしとこよみ』発行：「平成 26 年版」

9月に3,500部刊行し、実費配布。

3. 杉山検校に関わる遺著の刊行

- (1) 啓発図書『杉山和一』目の見えない人たちを救った偉人
1,000部刊行し、残部100部となっている。再版が必要か。
- (2) 編集発行できなかつたものは次年度に計画する。

3 顕彰に関わる事業

1. 「第83回杉山検校を偲ぶ会 ―鍼管感謝の礼―」：5月19日
江島杉山神社本殿、参加50名余
「鍼管に感謝する礼」実施後、シンポジウム「杉山検校和一を語る」を開催。
座長 時任基清氏、
シンポジスト 芦野純夫氏 中田光亮氏 大浦慈観氏
2. 「治療鍼に感謝の集い（鍼供養）」：9月8日（日）
弥勒寺 参加44名余
関係団体と連携して日頃使用している治療の廃鍼を回収し、鍼供養塔
ならびに和一墓所のある萬徳山弥勒寺参拝後、佐野昭典氏（文京鍼研究
会顧問）による講演「杉山検校」を開催。
3. 「第8回サイトワールド」への参加：11月3日（日・文化の日）
墨田産業会館サンライズホール
講演：〔人生は喜びと感謝― 杉山和一、塙保己一、ヘレン・ケラー〕
講師：新子嘉規氏 長沼菜未氏 三浦拓也氏
共催：公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会 公益社団法人温故学会
社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会
史料展示および足立区・墨田区の6名の協力を得て「ツボ体験
コーナー」開催（体験者77名） 来場者200名余
4. 史跡並びに古文書などの公開
(1) 惣録屋敷史跡「施設江島杉山神社」見学者への公開：杉山検校の遺
徳の解説、弁天修行の岩屋など史跡ならびに鍼灸・あん摩に関する古
医書などを公開するとともに、萬徳山弥勒寺の杉山検校墓所および鍼

供養塔を紹介して、遺徳の顕彰の啓発に努める。筑波大学特設理療科
教員養成施設、筑波技術大学鍼灸学専攻の学生などが多数見学。

- (2) 史跡保存維持：江の島の史跡和一墓所および高野山金剛峯寺の和一
墓所、ならびに弥勒寺の和一墓所・鍼供養塔の保存・管理。

5. 顕彰活動支援

- (1) 各会員グループへの支援
(2) 友好団体との顕彰活動

○神奈川県鍼灸マッサージ師会主催「杉山検校報恩会」との交流：5月
藤沢市江の島の史跡地において

○東京都盲人福祉協会福祉大会での啓発：10月

6. 郷土文化活動への協力・支援

- (1) 施設の運営支援：江島杉山神社の運営について地元町内会を支援し
地元と交流を深める。

- (2) 地元文化支援事業：神社が企画する行事を支援する。

○4月27日・28日 イベント「両国にぎわい祭り」に参加。

古書・史料などを展示公開。

ツボ体験コーナーを設け、杉山鍼灸治療所を開放する。

○神社行事に随時参加。

4 その他

1. 理事会：定時理事会3回、臨時1回。評議員会2回開催。

2. 杉山和一生誕400年記念実行委員会：第19回（6月）開催。

町内会から2月の覚え書きが示され、建設地と設計図面などを町内会と
検討する。順次、基本設計を作成し関係部署に建設助成を要請して、建
設推進を図る。

以上